



な が れ

「かち」ある言葉

副校長 深尾 剛

梅雨。じめじめした天気には、心も少し重くなります。また、逆に晴れた日などは、真夏日となることもあり、今年の夏は猛暑が続くのかと不安にもなります。こんな天候からなのか、先日、たまたま通りかかったところで、数人の間のちょっとしたもめごとに出くわしました。立ち会ってみると、自分たちの側に非はなかったと、自らの言動についての正当性を双方とも語っていました。そのうちにお互いが原因やきっかけを探って、「どっちが悪かったのか。」といった流れに話は傾いていきました。話し方もそのような視点でのものになっていきました…。

話が平行線をたどる中、一方の子がポツリ。「もしかしたら、こっちがもう少しうまく言えれば、友達（相手）も違った対応ができたのかもしれない…」というような、非は自らの方にあるということ話をしはじめました。それまでの話の流れを考えると、その発言をした子の方に状況は有利であり、むしろ、もめごとの要因をつくったのは相手側にあるといった感じであったので、相手側の子は、一瞬、キョトンとしていました。

相手を責め、保身に走るのではなく、自らの方に責任の軸を置き、改めるべき点を自らの中に見付けようとしたその子は、「自分は悪くない。」「相手が悪い。」と主張し「勝ち」をおさめるかわりに、今まで気付かなかった何かに気付き、自分を変えていく「価値」あるものを得たと思います。

表面上で自分に非がないことを主張して勝つことよりも、自分のしたこと（言動）にどれだけ向かい合うことができたか、そうすることこそ、「価値」があり、人を大きくさせていくのだと思います。

梅雨の間に見られた、心が晴れるある日の出来事でありました。

子どもの試行錯誤を抱え、見守る

都スクールカウンセラー 丸尾史子

戸三小に来て2年目になりました。日々子供と接して思うのは「彼らのどんな行動も、いま・ここを全力で生きている証なのだ。」ということです。例えばそれがいわゆる「問題行動」と呼ばれるようなものだったとしても、です。

子供は、その時その場で起きていることに彼らなりの知恵と力で対応しようとしますが、経験の浅さや視野の狭さ、あるいは言葉の不足や誤った使い方など、様々な背景から、失敗を招いてしまうことが多々あります。大人はそれを「困ったこと」と捉えますが、しかし、子供からすれば、立派な真剣勝負です。反抗的な態度ひとつ取っても、それはリスクを負って大人の社会と渡り合う、体当たりの挑戦なのではないでしょうか。

時には無謀にも見える子供の試行錯誤や挑戦をどこまで抱え見守れるのか、私たち大人の度量も、日々試されているように思うのです。

相談室の先生

区スクールカウンセラー 三澤有香

私が子供たちに自己紹介をする時は「相談室の先生です。お話を聞いて、困った時には一緒に考えるのがお仕事です。」と話しています。すると、「どうして授業を見にくるの？」という質問が出てくることがあります。相談室の先生なのに、何故ずっと相談室にいないのか。疑問に感じるのは当然かもしれません。それは、普段の子供たちの様子を知りたい、そして少しでも身近な先生になりたいという理由があります。子供たちからしてみれば、例え困った事ができたとしても、「相談室の先生？どんな顔だっけ…。」こんな状態だとしてらどうでしょう。よく知らない人に相談しに行くのは緊張してしまうでしょう。それよりも「あ、そういえばこの前教室に来ていたな。ちょっとお話したな。」と、なんとなくでも知っていれば、少し話しやすくなると思います。また、私も普段の様子も分かっていた方が、より心に寄り添いながらお話を聞くことができます。そんなもしもの相談が必要な時のために、授業時間は相談室から外に出て、子供たちと直接関わる時間を増やしています。

子供たちを見守る大人の一人として、気軽に話せる相談室の先生でありたいと考えています。

7月の行事予定

※7月の避難訓練は予告なしで行います。

1	土		17	月	海の日
2	日		18	火	
3	月	全校朝会 安全指導 委員会活動5・6年 歯磨き週間始	19	水	給食終
4	火	神田川ファンクラブ 4年 放課後学習教室	20	木	終業式 B時程4校時授業 下校12:30
5	水	B時程4校時授業 13:10一斉下校	21	金	夏季休業日始 夏季施設閉鎖5年参加者 13:30～ 夏季水泳指導① 個人面談① 夏休み学習教室①
6	木	東京都学力向上を図るための調査5年			
7	金	歯磨き週間終 こころの劇場(観劇)6年	22	土	
8	土		23	日	女神胡夏季施設①5年
9	日		24	月	個人面談② 女神胡夏季施設②5年
10	月	全校朝会 クラブ活動4～6年	25	火	個人面談③ 女神胡夏季施設③5年
11	火	着衣泳 放課後学習教室	26	水	夏季水泳指導② 個人面談④ 夏休み学習教室②
12	水	着衣泳	27	木	夏季水泳指導③ 個人面談予備日 夏休み学習教室③
13	木		28	金	夏季水泳指導④ 個人面談予備日
14	金	水道キャラバン4年 学年発表2年(朝会時) 放課後ゼミ	29	土	
15	土		30	日	
16	日	サマーフェスティバル15:30～	31	月	夏季水泳指導⑤
					※ 個人面談、夏休み学習教室は、学年によって実施日が異なりますので、学年からの手紙を御覧ください。

学 年 の 窓 ～ 3 年 ～

3年1組担任 小林 裕美

3年生は戸三小の中では一番人数の多い学級です。それだけでなく、一番アクティブで、パワフルだと思います。

「とまっぷ」の町歩きでは、地域の方や保護者の方と一緒に、グループに分かれて学区を歩きました。塀に書かれている落書きを見つけたり、茂った葉によって隠れたカーブミラーを見つけたりして、町の中にある危険に気が付きました。一生懸命に危険なところを探す姿は頼もしかったです。

また、総合的な学習の時間に「育てよう、役立てよう」の単元で蚕を育てていますが、毎日クワの葉を取ってきて、蚕のお世話をしています。愛情をかけている様子が見られ心温まります。

一人一人の豊かな個性を互いに認め合いながら、毎日の学校生活を充実したものにできることが、35名の3年生のメリットです。ギャングエイジといわれる年齢に差し掛かった子供たち…。これからも、様々な経験を通して、ほかの人の気持ちや考えを理解し合いながら成長して欲しいと思っています。

鑑 賞 の 楽 し さ を

図工専科 山内 泰子

先月19日、4年生の図工の学習で、損保ジャパン日本興亜美術館へ行ってきました。これは新宿区が区内全小学校対象に毎年行っている事業で、美術館が休館の月曜日に、貸し切りでじっくりと作品を鑑賞できるという夢のような取組です。今年度は、所蔵常設のゴッホの「ひまわり」や東郷青児の作品群等に加え、フランスの「ランス美術館」から来た名画の数々をたっぷり堪能し、本物のもつ作品の力に圧倒されました。

さらに、この鑑賞教室の素晴らしい点は、美術館のスタッフがグループ毎に付き添って、子供たちの様々な感想をじっくりと引き出し、お互いの思いを伝え合うという「対話型鑑賞方法」をとってくださるところです。事前授業にもスタッフが参加し、「絵は自由に見ていいんだよ。」と伝えてくださいます。

とかく大人の鑑賞は、知識が先に立ち頭でっかちになってしまったり、無意識に絵の価値を知名度で計ってしまったりしかちですが、子供たちの絵に向き合うときの瞳はとても純粋で観点も斬新。つぶやきを聞いていると「なるほどなあ。」とその感性のみずみずしさにハッとさせられます。「本来鑑賞とはこんなに自由なものなのだ」と、改めて考えさせられます。

図画工作では、表現することはもちろんですが、鑑賞することもまたとても意義深い活動です。作品に向き合いその世界に浸り自由に想像を膨らませたり、作者の意図や時代背景を考えたりする楽しさは、人生を豊かにしてくれるに違いありません。この鑑賞教室が、これから先沢山の作品に出会って感性を磨くこと、ひいては名作や名画に限らず身近な事象の中の美しさに気づき、楽しさ面白さを見付けるおおらかさと豊かさをもてることのきっかけになれば嬉しい限りです。